# ROBA NEWS





第15回

カーフリーデーふくい

20210919

图原图汇集表和~!



# ☆★活動報告★☆

8月10日 ROBA8月例会・理事会

8月17日 第3回カーフリーデー実行委員会

8月21日 ふくい市民共同発電所を作る会総会

8月24日 越前市地域公共交通会議

9月14日 ROBA9月例会・理事会

# ☆★今後の予定★☆

9月19日(日)第15回カーフリーデーふくい2021

10月12日(火) ROBA10月例会・理事会

# 善光の一言 28

コロナワクチン、副反応を望む!?

富山県、ワクチン接種済み会員、善光です。

コロナがなかなか収まりませんが、みなさんワクチン接種は 終わりましたか? 私は土日、ワクチン接種会場にかり出され、 お陰様で7月中旬までに2回の接種を終えました。

ここで話題になったのが"副反応"です。多くが2回目に 発生。また高齢者は少なく、若者に多いのが特徴。私は筋肉



質のためか、腕の"筋肉痛"の様な中程度の痛みが出て、2回目はそれに加え微熱程度と大きな副反応は無し。まだまだ若いと副反応を期待?・・・していたのですが、がっかり? 会場職員の若者は、倦怠感や39度くらいの発熱などの副反応が出た様ですが、3日目には回復としたとの。・・最近の接種会場は高齢者がほぼ終わり、50、40代の方にまじって、高3、中3の受験生の姿も見らてるようになりました。

ワクチン接種は、あくまで個人の判断ですが、高齢者の感染者と重症者が減っているのを見ると、 ワクチン効果が期待できる様ですね。接種がまだの方、今回の記事が少しでも参考になれば・・・。 (写真は"接種済"缶バッチ)

# MaaS等の視察に行ってきました。

(報告 はたみゆき)

令和3年8月6日(金)に加賀市およびあわら市に公共交通に関する視察に行ってきました。 この視察は、野田県議会議員からのお誘いで実現したもので、当会からは林(ひ)さんと私の2人 が参加し、合計6人で視察研修を行いました、

# 1. 石川県加賀市の取り組み

# (背景)

平成成 26 年に日本創成会議が発表した「加賀市の消滅可能性都市」(金沢市以南の石川県内で唯一) この発表による危機感から「デジタル化の流れに乗り遅れてはいけない」と認識し、先端技術を 導入したまちづくり、「スマートシティ構想」に取り組むことになる。

令和2年3月30日に「加賀市スマートシティ宣言」が行われ、「加賀市スマートシティ」の一環として MaaS が取り組まれることになった。

市としては、公共交通を維持していくのは大変で、また、市の補助にも限界があるため、MaaS の考え方を取り入れていくもの。公共交通の利便性を高め乗ってもらう人を増やす取り組みを実践。市民が移動することで消費(経済効果をあげる)してもらう事もねらい。

# (公共交通機関の再構築)

路線バスの大幅廃止を踏まえ、鉄道を含めた組み合わせによるムダのない体系づくりとして 再構築する。

## 幹線軸

・幹線軸は鉄道、路線バス5路線、キャンバス2路線※1

## ②フィーダー軸

- ・フィーダー軸は平成27年5月から運行を開始した「のりあい号」。
- ・「のり合い号」は乗合タクシー運行協議会から市内 5 社のタクシー事業者に委託して運行。
- ・予約受付は第一交通が担う(一番大きな会社だから)。
- ・のりあい号を運行する基本的な考え方は「交通空白地帯をつくらない」ことが特徴。
- ・これまでの予約は乗車1時間前のみ。令和元年に富士通によるシステム化で、乗車30分前の予約を可能とした。
- ・予約方法はネット、スマホ、電話、ファックスから可能。
- ・のりあい号の車両にナビシステムが導入されており、タイムリーな予約状況の把握ができ、 予約がなければ運行をやめ、定員以上になった場合は追加便で対応する。
- ・追加便の費用は市負担。

## (MaaS 実現に向けた組織設立)

- ・「加賀 MaaS コンソーシアム」を令和 2 年 2 月 4 日に設立。
- ・目的は、過度なマイカーからの脱却と、まちづくり・商業・観光を含めた交通サービスを 構築し MaaS の実現に取り組むこと。
- ・市長が会長となり会員10団体で組織している。

# ●「加賀 MaaS 実証事業」

- ・国交省の「日本版 MaaS 推進・支援事業」に採択された
- ・令和2年度は実証実験の実施、令和3年度はアプリ導入(現在は構築中)。

# (実験内容)

- ★対象ユーザ: 市民(主に子どもや高齢者)及び観光客
- ★システム的な整備内容
  - 1. 「加賀 MaaS アプリ」の整備・配布
  - 2. JR やバス、乗合タクシーの位置情報や運行データの整備
  - 3. キャッシュレス決済の導入
  - 4. データベースの連携・接続基盤(MaaS プラットフォーム)の構築
  - 5. データ分析基盤の構築
  - 6. マイナンバーカードを活用して個人認証をするアプリとの接続

# (実施内容)

# ★高齢者等に対する実証

- ・住民の日常的なおでかけの不足と QOL の低下を解消。
- ・移動しないと病気になるので医療費削減も目指している。
- ・アンケートで目的地をヒアリングし、期間限定の無料で移動できるサービスとして実験
- ・公共交通情報+行先情報+乗車券をセットで提供
- ・スマホ教室の開催:マイナンバー登録している 65 歳以上が月 4 回、無料でスマホ教室に通える。また予約制で週 1 回、マンツーマン教室が利用できる。

# ★子供に対する実証

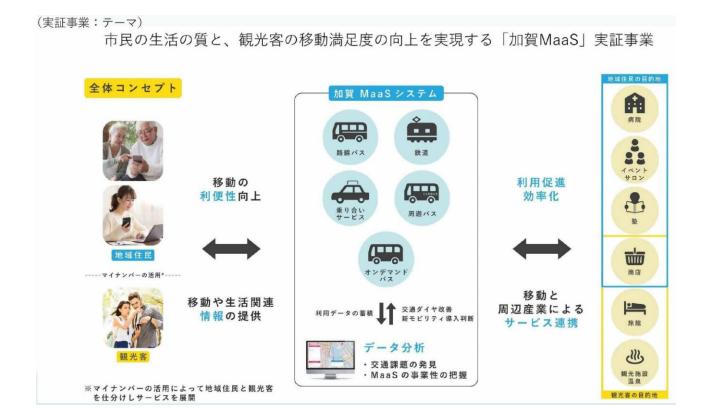
- ・子育て世代の送迎による経済損失を解消
- ・2040年までに若年女性の人口が減るので、子育て世帯の負担軽減を支援
- ・塾の送り迎え等「小1の壁」に向け、があり、塾の送迎に特化したデマンド交通を運行
- ・正社員からパートへの転換抑制と、送迎時間を別の家事の時間に使ってもらうもの

# ★ 観光に対する実証

- ・加賀市の魅力の訴求に必要な移動の不便を解消
- ・旅館から公共交通で行けない観光地があるため、エリア限定で高級旅館から行きたい目的 地に行けるもの

# ★「新しい生活様式」に対する実証

- ・ワーケーション等で関係人口を増やし最終的には移住してもらう
- ・行先の混雑状況が変わるようなアプリ開発で、平日に空いている旅館への宿泊や、空いて いる時間帯に出てくるクーポン券等
- ・移住の時に公共交通が脆弱だと完全な移住に結び付かないため MaaS を取組む



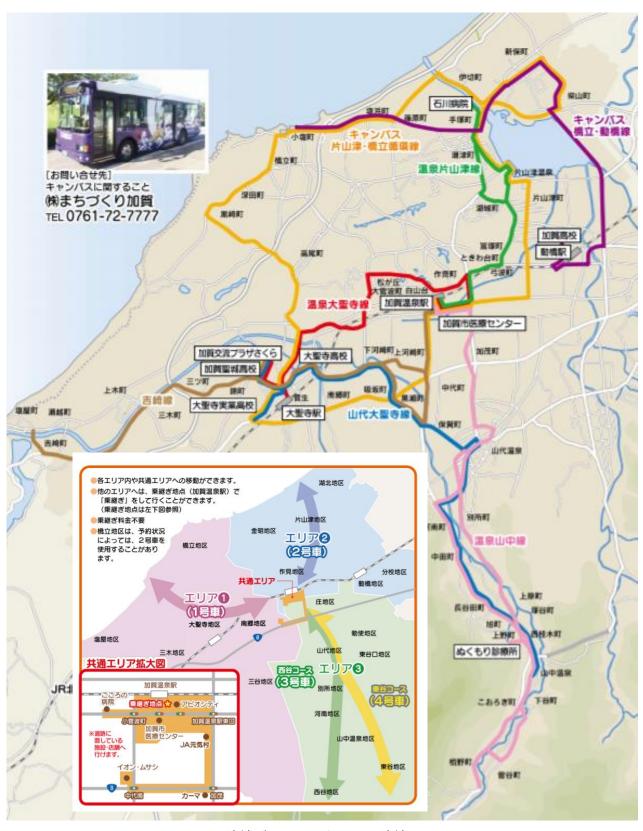
# ※1 キャンバス橋立・動橋線(新設路線)

令和3年4月1日から「キャンバス橋立・動橋線」が新設。通学用バスとして、日曜・祝日を除く朝夕の通学時間帯に1日1往復する。従来は自宅からJR動橋駅まで、家族による車送迎していたものをバスで代替できるようにした。

運営主体は三セクの「まちづくり加賀」で、加賀市から年間約 250 万円の運行補助を受けている。

# (市の担当者との意見交換)

- ・アプリでは目的地に行くための優先交通が検索結果で出てくる
- JRの時刻表もでてくる
- ・電子決済として交通系は少ないが、方法は色々ある。
- ・今後の新幹線開業を見据えて二次交通が必要であり、のりあい号の高度化を進めていく
- ・のりあい号は利用者会があり、利用者の声を直接聞きながら毎年改善している
- ・サブスクはもう少し先の話になる
- ・のりあい号と路線バスの競合は市が調整する。
- ・ルートが重複しないように新規路線は市で調整しつつ、重複する新規路線は認めない。
- ・のりあい号の運行は前市長時代に始めたもので、現市長になってからはIT化を進めた
- ・市長は先端技術や MaaS 等の勉強をよくしており、職員ともオーソライズしている
- ・職員は他人事から自分事に意識が変化している



図―路線バスとのりあい号の路線図

(下の大きい地図が路線バスの路線図、重なっている小さい地図がのりあい号の路線エリア)

# 2. 福井県あわら市の取り組み(コミュニティバスからデマンド交通への移行)

# (背景)

平成 17 年からコミュニティバスの運行を開始し、ダイヤと路線の改善を行いながら運行していたが、特定路線の特定時間を除き、利用車の増加が見込めず市民からの批判もあった。また、行政コストの肥大化から見直しの必要性に迫られ、平成 22 年度からデマンド交通の検討が始まり、平成 24 年 4 月からデマンド交通の運行を開始した。

# (利用概要等)

- ・利用者登録を行い、登録証を受け取る(数日を要する)
- ・乗車1週間前から1時間前まで電話予約可能
- ・予約の際に日時、乗降停留所、利用人数を知らせる
- ・運行日時:月曜日から土曜日の8:00~17:00
- ・一般料金:1人乗車 600円/回・人、2人乗車 300円/回・人、3人以上乗車 200円/回・人
- ・市外へは広域停留所から乗り換えて行ける
- ・協力事業者5社、合計12台の車両で運行
- ・5 社のうち 1 社で総合受付を担っている

# (現状)

- ·停留所数: 262 箇所(H24)→332 箇所(R3.8)
- ・登録人数: 2,280 人(H24)→5,082 人(R2)
- ・稼働日数:245日(H24)→291日(R2)
- ·1日平均利用者数:72.7人(H24)→102.7人(R2)
- ·1日平均便数:52.95台(H24)→63.2台(R2)
- ・1 人あたり経常費用: 470 円(H24)→606 円(R2)

#### (R2 年度実績)

- ・年間延べ利用者数は、女性が 22,384 人、男性が 29,987 人
- ・よく利用する年代は男女とも80歳代以上
- ・20 歳未満は 938 人で主に中学生の部活利用
- ・利用の多い曜日は男女とも金曜日と月曜日、土曜日は最も少ない
- ・利用の多い時間帯は 9:00~11:00 で午前中に集中している

#### ≪意見交換≫

- ・運行への要望には、日曜日運行、市外への運行、自宅からの運行が多い
- ・ネット予約は利用者からの要望はないが、ゆくゆくは導入が必要
- ・停留所は2種類あるが自立式が多く用いられている(19,500円/基)
- ・往復で予約する人が多い
- ・1日に往復で3乗車する人がいる

# 令和3年度第1回越前市地域公共交通会議報告

岸本雅行

8月24日、越前市地域公共交通会議に ROBA の理事として参加してきました。議事次第は下記の通りです。 [ ] 内は私の記録です。

- 1 新任委員紹介
- 2 あいさつ [奈良越前市長]
- 3 会長互選 [ROBA 理事の三寺潤氏(福井工業大学教授)を全会一致で選出。]
- 4 報告事項
  - (1)地域公共交通の令和2年度実績等について
    - ①福井鉄道福武線について[福井鉄道 鉄道部長 澤崎幸夫氏]
    - ②福井鉄道路線バスについて[福井鉄道 自動車部長 福山真也氏]
    - ③市民バスについて [総合交通政策課]

[新型コロナ感染拡大により、福武線の利用者数は前年度と比べて 20%減少、路線バス利用者も大幅に減少し非常に厳しい状況である。市民バスの利用者数も前年度と比べて 22%減少した。]

(2)危険バス停の移設について [総合交通政策課]

[越前市内の危険バス停は60箇所(市民バス40箇所・路線バス20箇所)が該当、優先度をABC にランク分けして移設を検討している。令和3年8月現在、市民バス停留所1箇所の移設が完了している。]

# 5 協議事項

小型バスの入替えに伴う越前市地域公共交通会議での協議について[福鉄商事取締役 青山正勝氏] [福井鉄道の小型バス1台は、貸切バスとしての利用だけでなく、越前市から委託されている市民 バスが運行不能となった場合の予備車両としての利用を兼ねている。当該車両は老朽化が進んで おり入替えを検討している。導入にあたり地域公共交通会議の承認が必要と説明があり、委員か らは質問などもなく承認された。]

# 6 その他

(1)越前たけふ駅二次交通の検討スケジュールについて [総合交通政策課]

[北陸新幹線の開業が遅れるため、従来のスケジュールを変更した。路線バス・シャトルバス導入の場合、令和4年度に「方向性の協議」、令和5年度に「ルート等の概要説明」「ダイヤの決定」としたい。]

(2)北府駅鉄道ミュージアム整備事業について [総合交通政策課]

[令和3年度中に広場整備工事が完了、令和4年度は福井鉄道200形車両展示場の整備工事を行う 予定である。今秋には200形車両の補修(塗装・整備など)のためのクラウドファンディングを 予定しているので、ご協力をお願いしたい。]

従来の協議事項は市民バスのダイヤ・路線変更や停留所の新設などが中心でしたが、今回は小型バスの入替えに関してだけでした。(会議時間 10:00~11:40) 越前市地域公共交通会議について、ご意見などございましたら、岸本までご連絡ください。

# 怪速! by.73L哲









作/漆嵜 耕次

# みゆきちゃんのおでかけ日記 Part37

# 食欲の秋

食欲の秋は人間だけでなく、冬眠する動物や越冬する虫にとって も食欲の秋なんでしょうか。今回は、自宅庭で草花や樹木を育てて いる悩み事や困りごとのお話です。

自宅では野菜を育てるのは家族に任せるとして、私は週末ガーデナーとして精を出しています。

困っているのは何かと言うと、特に9月中旬頃から春の季節で、「土の中や幹の中で越冬するイモムシを画期的に退治できないか」ということなんです。

- ① 根頭がんしゅ病:庭ではバラに発生します。幹、根元、根にこぶができ、樹勢が弱くなってゆくゆくは枯死します。土壌伝染や接触伝染するので厄介な病気です。抜根して対処しています。
- ② カミキリムシの幼虫:木の内部を食害しながら成長します。1年で枯死することはありませんが、花が咲かない、樹勢が弱くなる等の症状が出てきます。(木くずが外に出てくるので早期発見は可能)幼虫はそこそこ大きいので薬液注入か枝切除ができればそうしています。
- ③ コガネムシの幼虫: 土の中で草花・樹木の根を食害しながら成長します。症状としては草花等が弱々しくなり、そのうちに水やりしても萎れが回復せず枯死します。(発見する頃には根が全滅)一箇所につき 10 匹ほどでてきます。草花の周辺を掘って確認し、発見したらトコトン掘出す感じです。農薬は控えています。

話はコロっと変わりますが、スズバチ(ドロバチ)の巣を初めて見ました。「何だろう、このドロで作ってあるやつ。何かの巣?」と思い、思い切って突っついたら、**巣が壊れてアオムシが出てきました**。ネットで調べると**『スズバチ(ドロバチ)』**の巣らしいです。



7~9月頃に巣を作り、青 虫を巣の中に入れてから産卵 し、巣の穴をふさぐ。

青虫は孵化した幼虫のエサになる。幼虫は巣の中で成長し翌年の春、サナギになり羽化をして巣から飛び立つ。 だそうです。

# 編集後記 ・・・編集委員より一言 内田(発行責任者)

「並行在来線の運賃が示されました。すでに運行している石川県と富山県とよく似た体系ですね。問題は越美北線小浜線、えち鉄、福鉄との連携です。せめてこれは画期的なプランが見たい。」

林(変集長)

「近所のしまむらが閉店。ショック!」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910 - 8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail : roba@mbh.nifty.com

URL: http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/